

使用上の注意事項

山口誓子記念館は、西宮市苦楽園にあった俳人山口誓子・波津女の旧居の主要部分を復元・再築したものです。木造数寄屋造の建物であり、鉄筋コンクリート造の建物やプレハブの住居とは違った注意が必要になります。

館内での飲食禁止や静粛を心がけていただくといった常識的なマナーを守っていただくことは言うまでもありませんが、伝統的な木造和風住宅の共通した次の注意事項については、理解しておいてください。

- ◇ 日本の伝統的な建物は、木・土・紙を利用して建てられています。不用意に硬いものが当たると傷つくので十分に注意してください。特に肩に掛けたり背中に背負っているカバン類が知らず知らずのうちに壁や柱に当たることがあるので、できれば手荷物は事務室に預けてください。手荷物を所定の場所に置く場合にも壁を傷つけないよう注意してください。
- ◇ 柱や鴨居などの木部・襖・障子などの構成部材はすべて塗装していない素地の仕上げですので、不用意に手で触れると油がつき、やがては変色しますので注意してください。
- ◇ 床の間や違い棚などには不必要に踏み込まないでください。敷居についても補強はしていますが、できるだけ踏まないようにしてください。
- ◇ 襖や障子は引手より下の部分を両手を使って開閉してください。障子の棧には手を掛けないでください。
- ◇ 縁側のガラス戸を開け放つと開放的ですが、高台に建っているため、突風や予期しない雨の吹込みも予想されますので、閉め忘れのないよう注意してください。

便 所： 便所は防水していませんので、床に水を流さないよう注意してください。

雨 戸： 雨戸の開閉は面倒なものですが、一枚一枚丁寧に扱ってください。
決して複数の雨戸を押し込んだり、ぶついたりしないでください。

土 間： 玄関や路地は「タタキ」と呼ばれる土と漆喰の混合剤を木槌でたたいて作っていますので、それほど強いものではありません。
革靴の角を強くぶつけると傷つきますので注意してください。

設 備： 照明や空調は事務室で集中的に管理していますが、不必要な点け放しがないよう節電にご協力願います。

- 使用願の内容を変更しようとする場合は、直ちにその旨を研究推進課研究推進グループへ申し出て、承認を受けてください。
- 使用時間（午前10時～午後4時）を厳守してください。
- **貴重品の紛失等の事故**については、本館としては責任を負いかねますので、使用責任者において十分に注意してください。
- **火気（全館禁煙）、盗難、戸締り**には十分にご注意いただき、整理整頓に心掛けてください。
- **ゴミ類**は、使用責任者において必ずお持ち帰りください。

緊急事態が生じた場合は、研究推進課研究推進グループ(078-803-5393 内線：5393, 2915)へご連絡ください。